



南徳里見八犬傳卷之三

東都曲亭主人編次

第三回 景連信時暗小義實を阻む
氏元貞行ニシテ館山小後ハ

却説安西三郎大夫景連ハ近習のちろとさうがめく。結城の落人里見義実。主
後三人水行より。あゝ来れる縛の趣。大ろへ情しみど。後難をうかこれ。
床ゆへ回答せば。麻呂信時をえぐり。以此のひふきんのとじひをひえ。
と向と信時笑あ。さと見ハ名ある源氏うれども。あふハ縁めぬも。二の
持氏うれし。結城氏朝又荷擔れ。篠城三年。まひにゆく。京懸念を詠ふ
て。ハ命は豫そあたれと。思へば。たゞやるか。落城の日。小後。親の娘。お
さもえうづ。阿容。と遊かく。おらこうへ流浪する。うやうやろ。白

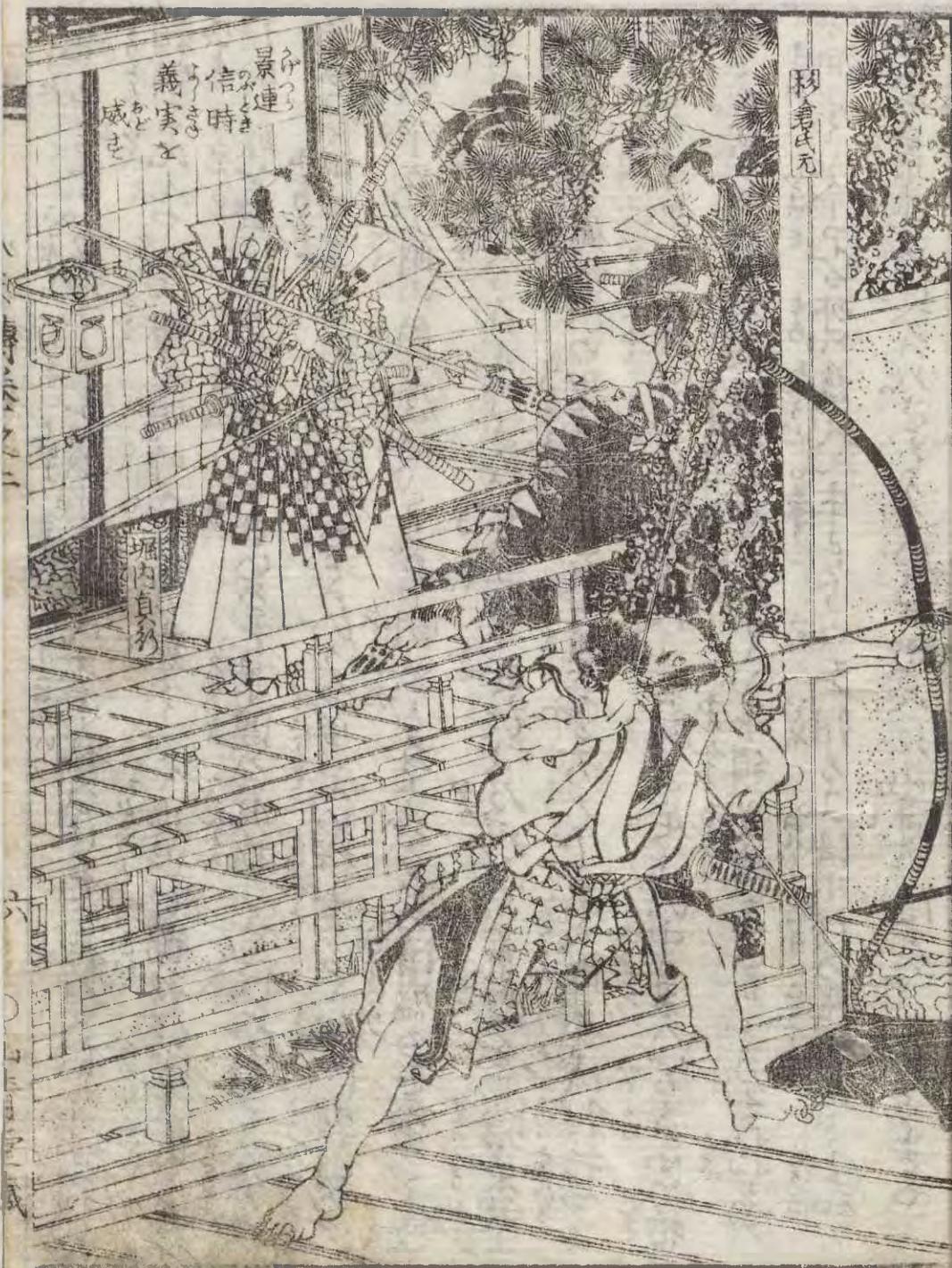
徒よりて、又對面志安がたとへ追退けり。ひ孫と丸囃せよ。説諭せし。且く既を傾け。某もさへども用がべたよ。うれはやど。彼は二年築城。あそ戦ふに熟る。ものまことに。実年うのころと。うる。数万の敵軍と殺陣。うふして、うち、下ぞ來ばれ。召入れて、對面し。その剛臆を試みて。便ひ火薬の定包と。対一方の大樽をゆきうと。もん。欽又使ふ。ひだりへ追退。おぐもほ立地。刺殺。後の禍を禳ひ。うんこ。強へのうふと密語。信時。おぐうち点火微めを。うりきひ。某も對面せん。准備。うち。お六景連極。老堂を占す。と。菌様こと。鏡示。ご。藝能力量。兼備。壯士。末。謀と。傳させ。口。冒。いそが。されば。信時も。又。恨。する。家臣。木と。召へ。おきて。その辯のよろと。ゆく。あく。景連。ひろ共。客房。ふぞ。う。ける。この辯の。お体。まく。武と。張。威を。か。おと。安西が。安。臣。人。味。旨。が。獲。子。十
餘人。金。い。く。や。れ。お。粉。と。一。帶。小。居。る。が。と。飾。き。る。數。張。の。弓。弦。壁。ふ。画。る。瀑布。の。か。く。掛。ら。て。る。鎧。蘿。刀。春。の。外。山。の。霞。ふ。似。う。廊。み。の。幕。垂。て。身。申。あ。る。力。士。十。人。あ。や。り。ま。れ。と。つ。り。え。う。出。か。の。主。従。生。拘。ん。と。く。か。く。櫻。家。と。引。く。と。う。さ。あ。ね。よ。里。見。冠。者。義。実。へ。外。面。又。左。右。に。と。既。う。半。胸。あ。ま。う。ふ。て。あ。る。う。と。口。へ。づ。と。ゆ。く。と。い。ま。二。室。つ。過。び。衝。き。の。紙。盾。の。漢。う。標。運。乃。麻。の。上。下。を。る。壯。士。四。人。立。見。せ。透。ゆ。俺。们。業。内。一。ま。つ。う。ん。と。の。ひ。あ。へ。と。前。を。刺。く。き。る。と。亦。弓。走。げ。れ。ば。此。宿。と。く。後。の。心。後。ゆ。立。み。う。下。よ。弓。箭。を。刺。く。き。る。と。亦。弓。走。げ。れ。ば。此。宿。と。く。後。の。心。校倉堀内。これ。を。あ。く。吐。嗟。と。む。う。り。共。よ。ま。う。と。ま。う。根。が。ア。ア。ド。ほ。と。う。よ。う。白。小。袖。玉。棒。掛。て。棒。の。股。丈。ま。く。取。る。夥。兵。六。人。支。生。短。簫。の。火。改。突。掩。先。ろ。う。皆。背。さ。る。よ。あ。つ。み。う。ぞ。送。り。去。志。ク。シ。よ。義。実。ハ。騒。だ。る。れ。色。な。く。こ。れ。り。の。く。て。歎。待。る。三。年。以。來。結。城。半。敵。の。

矢面さやに立一日ひもあり。槍下やりと潛脱かくだつへり遍まんとり不ふトトあらねど海うみより外ほかふ物ものあ
る。ふれ却さく波風騒なづかせと良賊よしやくを異ことを樂たのむとせり。小ハ他ほかのめうまとそとう一二
三さんの後あとする。老黨ろうとうめ立たてよすう治はるよたぬゆ乱らんを心こころれむ。小敵こわいとてそく侮はずら
と。兵書ひょうしょふ本文ほんぶんありとのと。三人さんじん過すぎる主從しゆしゆへ歛くわらのあらの羨美うらら弓弦ゆげん
索麪さくめん異ことる饗食應きょうじきよあうトの刀芥とうがの手て料理りょうりを亦復また賞味しょうみつよまつらん。秀案しゆあん
内うちとといそがく送おもてとく。主從しゆしゆはもやその席せき。脇わきと腰こしの扇おうぎを右ひだりと置おき。アヒル
捨すてと引揚ひきあげて東西とうざい。帷幕いもくの内うち入いりつけ。當とうト里見義実さとみよしハ景連信けいれんしん
時ときを遙とおふそく。此こも媚びきは氣色けしき。寶座ほうざ又また石いしと腰こしの扇おうぎを右ひだりと置おき。アヒル
結城ゆうきの敗將ひじょう里見さとみ大前おほまへ義實よしのぶと夫治ふじ紹さ。肺はい季き三さんが送おもてよよ。辛からく敵てき
軍ぐんの聞き城脱じゆ。漂泊ひようぱく。あらふれり。かとば遊あそ。台屋だいや小ちこ。今いま乃のと
方かたと寫うつ。華洛けいらくハテラス。謙倉けんそううる。管領かんりふも後あと。ア安明あんめいの民みんトト。トトバ
トトより車くるまのシベシベとぞひしろひのまゆまゆ。笠かさくよ異ことる蒼鷺あさり街まち。鏡かがみ小こ、
臂ひじのちくちくと鶴つるほりもあくえあくえとそく。おうどおうど虎威こゑと犯いたず。見みまを
云いひ。敗軍ひじょうの將しよとそく。嫌いやれど。對面たいめんと許ゆの。八日月はづき中なか成畫せいが。足あしを
併あわく。うそうそが愛あい。臣おの倉木くらき曾そ。民元みんげん。壠内うとう。人ひと貞じん。かんかんもと。かか。室
ひ。と懲こわ懲こわ。名告めいご。徐ゆき。承うけ。そく。又また。氏元じいん。貞じん。ひ。うそうそ。と。おお。まま。へ。二二。かか。
うける。あれど。景連けいれんハ。おひく。よそ。おひく。実じつ。年としの。こゝに。小海こみ。そよ。つや。おお。
の。そ。禮れいと。互ひ。手て。底そこ。眼まなこ。睂まなこ。声こゑを。ふ。立たつ。麻呂まろ。一い郎ろう。
ス。聊ひそか。別べつ。候まわ。死死。い。け。平館ひらかた。よ。來く。か。ひ。よ。の。席せき。上う。主お。の。ミ。ニ。ヤ
シ。ナ。レ。小。穀こ。者じ。み。コ。不。安。房あは。小。圓まつや。と。も。東。南ひが。の。盡。知し。ふ。一。三。百。丈。丈。
海うみ。分。江こう。至。町。殿まちでん。の。ま。命。承。受。と。兩。管。領。ふ。も。後。の。都。國とくこく。の。強。敵きょうてき。か。敵。敵てきてき。
犯いたず。と。み。され。ば。と。く。き。入。安。西あんせい。よ。終。と。由。縁。も。あ。れ。と。利。郎りろう。京。居ゐ。

倉を歌ふ。受て。身のちくとすろのれまく。小乳臭も失ぬ嘴と唄にして。利害を
観ると。おづれ。嗚呼人の舌。魄を憐むて。慈眼視靈生佛のとく。草木と雲を
を。目里福壽舟。海又仰つた。雅う罪人とよく。小留めく。その出来と招入を。寛へて。坐
で。さらざる。蓋の對面する。とあざと。誓る願を。うな。掛つうち。笑へ。義理を完結と。うに
咲く。ちん。山の不ハ。その名代え。麻呂ぬ。ひは。狹。麻呂安西東條。當國の
舊家。き。勇悍武略をもつと。と。猶矣。仙翁の多可憐。一登。親。か
い。幸甚。其の生涯只。兵の。宝と。ちりそ。うづくへたり。難。後。へと。と。結城。
有。益也。之。家。康。君の。大。軍を。二年。備。防。きと。が。死。又。臨。とも。悔。と。せ。す。死。
某。親。ゆ。及。孫。よ。歎。と。き。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
も。が。な。や。が。送。そ。已。と。成。り。む。只。命。運。と。天。よ。任。く。時。を。後。ん。と。名。ふ。の。と。孫。倉の。持。氏。卿。
初。世。ま。す。と。ス。と。時。安。房。上。総。ひ。だ。ま。え。八。列。の。武。士。一。人。と。と。心。を。傾。け。

腰を折出仕せ。す。る。り。ゆ。り。よ。持。氏。械。と。し。を。あ。ひ。と。幼。君。の。む。ん。あ。小。家。を。去
み。ま。る。身。を。捨。て。氏。朝。よ。ら。ま。う。を。戮。一。結。城。小。童。城。を。さ。る。稀。入。勢。利。と。高。公。懸。一。け
五。れ。あ。る。氣。が。よ。も。麻。呂。ぬ。安。西。ゆ。持。氏。卿。の。恩。義。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
崇。と。か。そ。と。某。と。容。ト。と。と。と。袖。と。袖。と。袖。と。袖。と。袖。と。袖。と。袖。と。袖。と。
身。を。が。つ。れ。ま。る。圓。く。の。武。士。隨。後。ひ。ぬ。も。そ。と。あ。ひ。こ。る。と。る。れ。ど。る。ゆ。く。主。後。三。人。よ。と。と。と。と。
実。と。い。く。か。そ。も。く。器。械。會。ひ。る。壯。士。ぶ。よ。添。け。雷。震。安。泰。を。與。そ。と。口
ゆ。へ。り。と。用。心。嚴。し。一。席。上。よ。弓。箭。を。掛。劍。戟。の。鞘。と。外。レ。剣。帷。幕。の。内。
坐。す。さ。う。ぞ。一。黒。の。力。士。を。か。ー。タ。ソ。ハ。い。ふ。を。と。結。ら。と。と。信。時。忍。地。顔。と。と。報。め。安。西。
目。を。注。ま。ま。不。景。京。連。若。不。大。息。つ。死。の。力。と。所。至。極。せ。り。弓。箭。前。バ。武。士。の。望。
み。れ。絶。絶。と。
弓。劍。戟。川。平。小。等。一。方。を。獲。う。を。の。と。
か。か。う。ん。う。但。一。業。に。セ。ー。タ。の。と。と。小。器。械。を。會。し。セ。ー。う。力。士。と。か。し。聖。道。と。八。風。傳。

家むろも不をふと什麼。汝ふへ付のぬふ止みたるを志ぐるぞ。と、龍
かよと追退け。跡をうる。鎧長刀ハ屏風をあらまかにさせけり。またその准は頬
語く蟲の聲のまろのむべ安西麻呂が家臣おひ遠侍へかめあれ。屏風の昔
退ひて、行を試ふもまくげ。かくの事とも信時へよりとす。膳承をもと
天実ようち對ひ。今示さる。禪の趣。その趣ある。よ御と。敵と。をもて。争と
情と。後運を天と。時を俟んと。おふそなうと。坂東。源氏。安西氏と。要と。と
おのづる。あぶる。一圓の主ゆもわらず。めハ元未後く。入れ。安西氏と。要と。
船底よせ。よつて。食。よつて。食を擲よび。追々のハ路を。敵を。
かそ。命と。惜しき。迷ひ。ひりふく。恥が。やまく。こよく。來び。かそ。死
す。の張と。飾らば。よち。よろづ。如。此。うと。明。地。又。生。く。こそ。情。整。由。一不
ス。と。あ。この席上不連か。ひよ。どう。ね。く。やあ。うせん。明。地。又。吉。良。明。地。又。
おれま。と。再。三。と。び。う。更。に。死。失。ふ。は。追。れ。そ。途。失。ひ。は。當。圓。よ。來。つ。ふ。わ。う。ど。偏。め。先。跋。と
麻呂大入の推量。雜兵力。或者の入。み。ア。源氏。ゆ。け。大将。ス。抑。兵。実
余と。惜。敵。よ。追。れ。そ。途。失。ひ。は。當。圓。よ。來。つ。ふ。わ。う。ど。偏。め。先。跋。と
追。ひ。ス。日。源。賴。朝。卿。石。橋。山。の。軍。敗。と。て。安。房。命。死。ひ。と。死。和。君。の。先。祖。信。俊
ぬ。安。西。の。先。祖。景。盛。ぬ。東。條。ゆ。ひ。う。吉。よ。第。一。番。小。隨。後。ひ。と。二。の。志。あ。と
セ。と。頼。朝。こ。と。ふ。先。を。追。して。上。總。へ。う。そ。走。の。と。過。み。へ。あ。り。し。も。ひ。後。と。返。し。辭。も。智。も。勇。も。
大。軍。よ。う。り。ふ。き。と。更。よ。篠。倉。よ。基。を。白。く。遂。よ。平。家。と。滅。し。か。し。里。見。も。あ。と。
源。氏。嫡。流。ハ。幡。殿。の。序。末。り。か。う。古。樹。あ。の。と。あ。き。お。ふ。下。よ。廣。常。常。胤。奉。迎。て。忍。地
ひ。く。く。ハ。お。れ。ふ。と。底。か。う。じ。の。と。過。み。へ。あ。り。し。も。ひ。後。と。返。し。辭。も。智。も。勇。も。
お。い。お。ち。り。う。う。ど。う。と。お。電。
一。對。一。致。の。兩。老。當。ま。よ。挽。伏。う。と。信。時。へ。怒。り。又。逼。り。と。もの。も。る。ひ。ど。安。美。が



氣色となく忽地不声を激しく。自行氏元不礼ふせを。これひそむりの徳ある。
頼朝又比んや。ちへ漫々嗚呼へと叱り懲らしく追退け。勸解は寛る客や。本
信時へ眼を瞪じしひ紙又きてねひがど。豪連へ肩拂ふく。ほぬがまく給笑ひ
あるつる佛事一とく。りび亦のうきみる。里つるの後者よく仰ひ。頼朝の文
義朝ハ十五个國の節度使。う。朝敵とて。う。清盛もまた。う。族
かれ。彼卿流入へれだ。下へび。兵を起。ほ及び。舊因心を。坂東武
招。さとども。属従ひ。里見氏。これと異て。そのを。下免太郎。美成。わらゆ
仕へ。う。采地一郷の外。よ。下。物力僕。百騎。足。中葉へ宮。あ。彼
此。又。其。あ。び。あ。隸倉へ降。氣。く。本領。安堵。を。至。る。それおまえ
が。間。み。今。下。る。呼。へ。落。入。主。と。口。を。附。る。又。小。何。の。議論。わ。そ。志。と
改め。景連。仕。へ。ス。バ。さ。と。ス。ア。の。ア。あ。べ。た。小。物。の。ほ。ど。と。走。と。ど。や。と
飽。あ。ど。あ。ざ。と。驚。れ。い。も。民。元。も。負。行。の。主。の。三。方。を。汲。ひ。く。再。び。石。と。争。う。し
よ。ま。美。宴。ハ。す。の。微。美。安。西。ぬ。一。寔。又。あ。え。あれ。と。も。人の。口。戸。を。立。られ。ば。某
この。地。又。あ。く。び。く。行。駆。ひ。巷。の。風。声。民。の。非。縛。は。止。ま。る。と。家。臣。も
主。君。の。耳。を。塞。だ。く。告。も。せ。徳。も。湯。せ。め。れ。を。に。不。忠。の。う。で。民。元。身。筋
筋。ひ。う。け。る。夥。の。禄。を。賜。ふ。と。も。不。忠。の。人。と。肩。と。比。耳。の。聾。一。主。君。坐。仕。合
工。底。形。か。と。の。れ。と。景。連。乳。を。成。變。そ。付。す。と。織。下。る。巷。の。風。聲。ひ。く
そ。や。と。向。へ。扇。を。膝。を。突。立。い。ま。と。曉。ゆ。ひ。ま。と。こ。ま。と。土。人。の。三。方。の。主。麻
呂。ぬ。一。も。又。あ。る。人。神。餘。安。西。麻。呂。い。三。家。の。舊。交。を。續。ひ。ま。と。そ。れ。が。う
相。佐。け。く。富。四。ス。く。無。異。ろ。い。と。神。餘。が。壁。臣。山。下。定。包。奸。計。を。り。と。主。を
片。ひ。忽。地。二。郡。を。横。領。し。推。て。國。主。と。称。ま。れ。と。も。神。餘。が。る。小。こ。れ。を。討。ま。れ。零
可。容。と。下。風。小。立。て。共。と。濁。と。愛。寛。ハ。民。の。辦。榜。を。宣。ふ。と。じ。や。某。こ。の。こ。と。す。

入れて用らざるもあらず。大馬の勞を竭んとせひへそじよ。の多日も出陣の準備もええ。終くその發に及れ移す志を演るよりをほ。已く主役の剛麿の口、官批評で不れた。神餘がる。定包と対する勇也る。義もスのを兵士。愚一からじ。今ハ一の是まで。罷能知人とのひあへき。席外去りとまゆ。景宗連急はせども。方すを告ふ。さちりとも理。今要時坐。人のこと。ゆつ。右も立遙。信時ハ此ニ。櫻経せ。あくまや。長実けふ。ま。ふ事。う。まく軍旗のみ。と。猿ハ密。る。威。よ。と。ま。そ。と。面。を。ぞ。和。主。ふ。か。く。ち。竹。死。く。告。ん。俺。門。を。勇。め。く。や。な。と。竹。み。づ。く。あ。く。ん。と。う。と。ば。ま。う。く。の。刃。向。く。と。敷。園。み。う。反。も。か。い。刃。の。鞘。よ。も。残。掛。れ。さ。う。で。も。由。あ。で。下。る。民。元。も。負。行。も。主。の。ほ。と。う。小。衝。と。ま。く。八。方。へ。眼。を。附。く。不。麻。呂。が。後。者。と。ぞ。えて。持。る。卷。を。持。て。頻。ア。テ。勝。を。進。め。ア。リ。そ。の。と。先。あ。ア。景。連。ハ。慌。忙。き。横。す。も。信。時。を。抱。き。禁。禁。耳。又。口。と。き。著。て。ほ。る。や。と。も。説。諭。し。撫。て。左。右。を。見。く。く。頤。を。り。く。あ。く。と。れ。ハ。安。西。が。近。臣。ホ。麻。呂。が。後。者。り。そ。た。ユ。遠。く。立。く。マ。テ。次。の。房。へ。傾。い。な。か。ア。ク。ど。も。義。実。ハ。扇。の。鹿。目。支。し。み。く。う。し。て。る。の。事。い。席。上。す。ア。リ。失。血。ミ。ク。當。下。安。西。景。連。ハ。舊。の。如。ミ。ア。ド。ア。景。實。ハ。之。も。ひ。身。の。ト。少。死。ミ。争。ふ。ハ。武。士。の。風。俗。る。れ。ど。モ。麻。呂。氏。ハ。戦。れ。て。ア。ラ。少。の。れ。そ。あれ。ど。の。時。と。瓶。力。を。も。り。ハ。堪。忍。を。あ。と。危。く。う。び。か。く。ハ。急。く。試。ま。る。み。和。敵。ハ。寡。よ。そ。の。人。う。る。べ。ア。リ。や。結。城。の。守。將。ま。ト。も。今。ニ。テ。浦。ス。流。浪。ス。シ。ハ。一。陣。ハ。支。か。ル。彼。定。包。を。討。ん。と。み。と。ア。コ。ノ。軍。令。ミ。背。だ。く。士。本。ハ。兵。主。忠。拙。戰。場。ハ。大。功。あ。バ。恩。賞。の。沙。汰。ミ。ク。シ。ヤ。素。性。ミ。撃。ア。オ。モ。爆。シ。ト。ひ。属。と。博。る。と。う。ア。ハ。レ。軍。令。ミ。背。く。り。ミ。マ。テ。ハ。決。ア。ク。用。ひ。に。和。取。一。日。ち。え。く。殘。メ。彼。賊。を。も。滅。シ。瀧。田。の。城。を。取。ア。私。シ。二。郡。の。ね。ハ。ふ。る。く。ど。モ。

あたうを憾ふ。かれへゆくも苗あむ。只この一發はあた人の心を定め
回答をせよと辭もあらず更に難義とされど此もいふやうに繫舟と云ひ
え。うべの岸アそ方のぬ一なれ。あよ底寝と蒙ぐと用らるてまわす。何
ゆと疎べたうるる仰せ。といひて景運うち白の臣ももとよりの事だ
奴を違背あうべく。ヨリ家嘉例とて出陣の首途。軍神と名ふとある。
ひきえ
その脛ゆべたる。鯉魚と協ふとふる。こぶるよ鈎をかじ。この裡と約し
夕ふるを敵と組勢り。頭を乃るふ同うべ。あうるゝやと現示。下る
よのせりゆび
義実固辞け。死みく參りひぬ。と應へて坐て立んとせ。主の後方又侍う
くる氏元貞がハ左右う。その袂とりどり。兩人荷一追と出安西公へ。え
のよ
嘉例と云。宣へども竿を斜めく舟と睡す。網を下して魚を捕る。その知見
きく
漁夫よりひのひ。これらハ武士のせざる耳。義実ゆべ仰けみた技。君をぐ
あらうと。臣死ととて。そ古人ゆく口。僕おが首をあく。脛とるゝ
う。とひせも果を景連。民元小を信と疾視。彼奴甚不禮。義実ハ法度を
おそれ。既に承諾せ。のを。化耳抜く行と。や。その家僕として博う。
おれ
シム軍令を犯し。罪を。脛を。彼牽かく。斬て棄よ。烈した怒り。おと
せ。氏元負ひ。進み。説果。よんと。ひう。其實を。成り。叱り。て。同
遙々退せ。彼おぐる。よ賠詰。又。景連。や。乞を。も。あう。鯉と。ふ
あく。彼奴を。和殿ふ。あづ。和殿。親約。と。來よ。そ。ま。三日。小限。お
べ。翁。因。よ。く。日。と。さ。白物。おが。の。う。と。お。じ。て。ト。ヒ。他。ゆ。き。
の。う。と。毎。小。義。実。ハ。恭。と。領。居。お。く。ん。と。く。う。と。と。白。物。お
の。う。と。老。當。馬。を。い。そ。じ。ち。と。出。人。ハ。次。の。房。よ。鞠。用。る。麻。呂。小。五。郎。信。時。と。娘。子。障
ト。ひ。あ。う。と。お。ま。う。と。お。み。か。子。と。用。う。と。冷。笑。ひ。と。且。目。送。り。あ。う。の。厚。と。人。左。あ。く。安。西。や。い。と。お。ぬ。と。

みどく里見が後者ホと助けたりひよ。それハ只官吏宣と號を與へんと
志つてども和殿が盾とえりあへ綱裏の魚を賣りしろと啣かはく叫けん。
景連笑ふちほ笑み。これも又ち、やう。用意へもれし。美夫の名家の
子。小冠者あれども忠虎才子。凡庸のぬえある。又後者ホと媿一人
告手とひふた秋。ひま漫ふを下さ。おも黙人を殺さん。獸窮されハ必囁。
自窮されハ必啄く。凶勇將猛也。殺手を束く。又と受んや。窮も懷る
入る。とがく。穢師も捕らばとふうる。今定色を対として忍ス。犯人を殺す民の
誠。傍ハ日ふぞく。遂よ大事を成ざかず。さむがとく。義忠主にの外へ出ゆ
久。猛獸を奉事ふぞく。早晚宿山牀安うじ。あ然りて首崩兩端よ言をよせ。そ
後主役が雅慢を厭ふ。祀の費を求めん。陷阱と造る。安房一國。おも
鯉と生せど。是をあ風上よりて。次彼奴ホこれをおうべく。洲は支那。お
島や。とま。

涉獵はづれ小口と。兵庫。かく。軍法と。りく。と。兵斬んかく。ても
殺ともちの罪す。こぶ松と。ひよ。と。毛豆被を助んや。と。津貞は視示せん。
信時ハ矣。坪よ。入。掌すと。丁と。鼓謀ね。極て妙。況敷。智。也。実。敵。田
計。と。定。包。よ。後。は。虎。翼。添。る。さ。と。く。ひ。く。日。用。ひ。る。い。匪。賊。て
母屋を損。悔。ほ。と。ひ。く。曲。て。後。よ。れ。を。殺。生。謀。よ。す。め。る。叶。奇
き。え。お。め。う。り。と。口。ハ。曾。嘗。嘆。き。う。ける。か。し。程。よ。義。寔。白。濱。る。旅。宿。
と。く。先。の。運。と。い。そ。じ。あ。と。途。い。と。遙。り。け。も。か。く。も。著。う。で。日。へ。暮。く。る。
抑。安。房。の。白。濱。ハ。朝。夷。郡。の。内。ふ。く。利。名。村。み。そ。の。名。つ。く。く。い。とも。舊。る。
御。よ。る。ん。窪。り。村。よ。接。と。ひ。今。ハ。七。浦。と。唱。る。の。も。の。濱。邊。の。標。名。み。く。里。見
氏。の。舊。出。止。そ。の。き。う。ふ。も。な。ふ。あ。い。所。謂。安。房。の。七。浦。ハ。川。下。岩。目。小。戸。鹽
浦。原。て。濱。白。間。津。是。用。沽。ハ。ま。て。か。ん。つ。美。寔。ハ。そ。の。曉。き。よ。白。濱。へ。か。く。る。

目睡もせど、漁穂の用意を志す。民元貞が飲む。君は瞑りながや。
信時ハ近侍の三勇者。景京連ハ能と忌み才と媚と甚憚り。我と兄弟と仇のて。
漁穂。之に人ある。鯉とあそぶ。行ひれせん。をやし縁へれど。その毒悪と
辯め。とりえだ小漁。一び。其實は死うち掉く。否。你達を異共見ひたゞ。麻呂
安西が入る。利害親く。其の疎う。口と行ひう。えゆく。定色とおそく
の。瀧田と村のあらは。とあらふ。かあらねども。まつ城壁く上縁へ赴む。彼
れも又如此。下縁へ歛地。そのとれ行役赴く。君子へ時をぬて樂む。
時と失ふ。亦樂む。呂尚ハ世より太公望是なり。齡七十。ふ頗く。よふ
人のある。謂漁。約しく文王。又值偶。紂王を討滅。大功あり。廟
國。封られ。子孫數十世。よほべ。太公望も。かのじ。これらハ時と勢力と。
所。あら失ふ。の。約する。美成織し。且鯉。はる。うな魚。傳聞。安南龍門
の鯉。瀑布。みゆる。と。化。と。龍。よろと。の。これ。三浦。と。龍尾。と。
今白瀬。へ。事。不及。び。人。又鯉。を。約。と。前。象。後。兆。憑。と。よ。む。や。獲。あ。
齋。と。景連。が。せん。や。と。姑く。ス。と。と。ふ。曉。あ。と。の。の。民。元。中
貞。初。も。その。高。倫。又。感。服。と。約。を。永。く。手。代。その。害。難。と。要。月。小。括。署。て
主。役。三。人。名。も。あ。う。ぬ。渕。と。づ。ゆ。く。ゆ。稻。ふ。森。の。鳥。も。梢。と。も。され。
天。へ。や。の。ぐ。と。明。ふ。タ。

第四回 小瀬よ義実義と聚む
第四回 小瀬よ義実義と聚む
第四回 小瀬よ義実義と聚む
却説義実主役へ此の池。被川と淵。とくづ。激。み。立。途。より。途。よ。日。と。漁。せ。ど
白瀬の旅宿へ。つづ。ゆ。と。く。長。按。郡。白。著。河。よ。漁。宿。や。と。ふ。も。や。言。ふ。
か。う。ふ。け。り。日。数。も。四。を。限。り。と。ゆ。ば。あ。う。頻。ふ。焦。燥。の。と。舊。ハ。殊。ま。う。き。

小鷦^{こじや}か等^{ひと}を鯉^{いわき}。翁^{おきな}の鯉^{いわき}を^う。翁^{おきな}は^う千劍振神^{せんけんしん}の代^よ彦^{ひこ}大^{だい}貴^き入^る。
と失^うく^う鉤^{つる}を^う索^{さく}。海龍宮^{かいりゆうぐう}に遊^ゆび^うひ^うと^う又^う浦^{うら}崎^崎の子^こハ^は波^{なみ}魚^{うお}釣^つり^う鰐^{うなぎ}釣^つり^う
と^う七^{しち}日^{にち}を^う家^{いえ}め^め來^く。と^うあ^あう^うり^りけ^け劍^{けん}水^{みず}今^いも引^ひく^く家^{いえ}の素^それ苦^{くる}ト^う主^し
事^{こと}。後^{あと}へ^へ思^{おも}ひ^うて^う面^{おもて}と^うあ^あへ^へ。有^あ一^{いつ}差^さ嘆^{たん}き^うけ^け。浩^{ひろ}氣^き下^{くだ}よ^よ。声^{こゑ}も^もか^かふ
さ^さき。唄^{うた}ひ^う。あ^ある^るを^う望^むく^うま^まり^り。あ^あり^り。主^し後^{あと}と^うれ^れを^うえ^えり^りば^ば最^{さい}蓬^{ぼう}け^けう^う見^むえ^え
す^すも^も。そ^そも^も。什麼^{なに}の^のあ^ある^る才^{才能}ぞ^ぞ。あ^あり^り。乱^{まげ}く^くる^る髮^は。春^{はる}の^の末^{まつ}黒^{くろ}の^の芒^{むか}の^のかく^く搔^か垂^{たれ}く^く方^{ほう}裳^{じゆう}ハ^ハ
れ^れの^の浦^{うら}よ^よ々^々海^{うみ}松^{まつ}よ^よ々^々。ひ^ひと^うも^もの^のか^かど^ど頬^ほと^うる^るの^のか^かど^どあ^あや^やん^ん瘡^{うぶ}の^のい^いで^でれ^れ
る^る。人^{ひと}は^は膚^はは^はれ^れめ^めと^うや^や熟^{じゆく}せ^せる^るサ^サカ^カ枝^え裂^さる^る柘^{つぢ}榴^{りゆう}巨^きの^の墓^はの^の脊^{せき}と^うい^いふ^ふ
と^うも^も。や^やう^うと^うあ^あじ^じう^う。う^うて^ても^も令^{れい}下^げ惜^くき^きの^のま^ま世^よ疎^すれ^れ人^{ひと}よ^よ懨^かれ^れて^ても^も。ぬ^ぬ
死^死う^うけ^け。う^うち^ちえ^えても^も忌^{ののし}て^てた^たよ^よ渠^{きよ}ハ^ハに^にとも^も怒^のが^がざ^ざる^るふ^ふや^や底^{そこ}斜^きる^る面^{おもて}桶^{おけ}を^を
う^うち^ち鳴^なう^う。死^死う^う声^{こゑ}と^うく^く唄^{うた}と^うみ^みけ^け。一^一里^りを^をえ^えて^て。白帆^{しらほ}走^はせ^せ風^{かぜ}。

そのうなれが求めゆく。實ふ垂益の殺生スアヘンとあすと傲り。當を
 拍々ス可とうち笑へバ。義実がえど竿を捨覗巨魚へ池中ふ生せしに
 大鵬ハ蟲雀の林又托ギ。コレソテスモ世故挾ミ天高きとあ蹠リ。地
 厚きとじて踏ム。安房一郡の主ふもく容されど然え代喻を詠ム取り。
 今ス鯉又く後を以ひトセテハ愚癡ありた元來鯉ハこの地方ふス。ト
 フ内セテ。といひつゝ人の心の底へ濁江ス。ト教ス。そく。もと。伎俩と今モ
 只。管轄嘆志安ハ乞見ハこれを。憲。くさの三悔。くろひ。あふ。陸奥。ふも
 鯉ハ。彼。又。五十四郡。う。あれハ。鯉の生。を。ると。生。せ。ざ。る。と。ス。その。幽
 郡。の大。小。又。よ。う。か。れ。バ。一。圓。十。郡。又。元。ざ。と。鯉。み。ー。ト。い。ふ。め。ハ。草
 強。附。食。の。臆。猿。ス。ト。さ。や。十室。の。邑。又。忠。信。ア。警。ベ。里。見。の。御。曹。司。上。毛。又

人。と。う。と。一个。圓。城。知。か。よ。う。ご。の。姐。よ。漂泊。と。膝。と。容。う。の。室。う。如。一。
 と。り。ふ。主。後。目。と。往。く。乞。児。の。頬。と。も。熟。視。る。そ。う。中。少。義。実。ハ。う。ち。ば。毎。ゆ
 嘆。息。し。人。ハ。形。貌。み。よ。う。ぬ。の。う。え。没。が。辨。論。と。見。よ。無。手。と。楚。の。狂。接。興。の。類。
 う。う。款。又。彼。光。明。皇。后。ヨ。堵。と。播。世。接。者。の。類。教。固。ヨ。リ。吾。と。お。ら。以。ハ。教。モ
 名。を。お。ヌ。よ。う。一。れ。と。所。り。あ。ハ。荒。蕪。と。嗟。あ。ハ。人。の。往。還。弊。う。精。交。
 と。先。又。主。後。ハ。う。ひ。切。え。う。遠。く。等。を。い。ま。て。後。又。躁。躁。や。ね。よ
 小。松。原。の。鄉。近。山。落。小。遠。り。そ。の。ダ。脊。よ。う。被。る。蘂。を。脱。く。塵。も。拂。ひ
 樹。下。よ。う。布。化。く。美。實。と。居。や。わ。う。と。れ。ハ。氏。元。と。負。行。ハ。夏。草。と。折。敷。く。
 主。の。左。右。ふ。つ。む。よ。う。當。下。と。見。ハ。遠。迷。く。恭。志。額。と。著。い。す。見。家。入。
 き。る。ひ。よ。ひ。バ。不。審。と。名。古。元。と。之。六。神。餘。長。挾。秋。弘。が。家。隸。金。碗。八。郎。
 考。吉。と。い。れ。り。な。と。果。ふ。く。い。し。金。碗。ハ。神。餘。の。一。族。歷。く。る。底。土。き。れ。を。

八犬傳卷之二



庶子よしのこを家臣けいしんとあらう。あれども差臣さしむの第一席せきめりひしと。某もしをやく
父母おやしと妻めひ年としはせとえがまど。その職そくは據さまとよく。のみとす。微祿びろく
僅ごくは近習きんしゅ小使こしれす。ひく主君お主の行状こうじょうよそとどきと好すきも酒さけみ荒あら。側室玉梓ぎょくじゆ
惑溺わくりき。後堂こうどうの内うちと生なと。僕人定色さだいろを重用じゆよう。賞罰しょうばくと任あたへうべ。これより
家則いえのそと。奉まつれ。神かみに怒いのり。入いへうめり。その危きまと黙卵黙ら。累たまごふ異ことぬ
とも。差當さしあたハ祿ろくのあ。その罪ざいをあらと。目不裸めはだら。民みんへかまひ。訴うそ。君きみ
みつまひと犯あく。これを曉あるよ。某もし頻ひん々ひんびん面おもてと犯あく。争あひ練ねりれ
どとそのうひ。比干ひかん肝かんを刀尖とうせん小弔こだい。伍子胥ごしづ眼まなこを東ひが門もん掛かけ。悉悉
悉悉練ねりめく用もちとまど。死死をや。と名なひひひ。つと。と名なひえせ。臣おみにて
君きみの罪ざいを。その罪ざいも又脛きのうと。大廈だいさの覆おひれんと。走はる。一木ひとひで。これを
挂まん。身退ひきく。外ほかと既すで。深念しんねん。決けつ。那古七郎なごしちろう。天津兵内とうみへいない。とりふ。而
個ひとの同僚どうりよう。志し。告おほ。老お。妻め。子こ。死死。のひ。とまく。夜よ。浴よく。遂つい
上あ縁えんへ。赴は。下さ縁えんへ。も。越こ。上野下野じょうや。り。が。陸奥りくおの盡つく。知し。でも。旅た。久。日ひ。
強たけ。便びん。著つけ。做つく。得とく。方ほう。劍術けんじゆ。卷まき。法ほう。の師し範はんと。せし。と。是ぜ。首くび。半はん年ねん。彼かれ首くび。不ふ一いつ季き
ち。ぬ。月つき。日ひ。か。と。つ。と。う。る。か。ば。た。や。五。年ねん。成な。狩か。や。故お主しゆの安あん否ひ。か。る。今いま
竊くわ。上あ縴えん。す。ぐ。還か。り。と。奈な麻ま。余よ。そ。の。甲こう。斐へ。ア。と。さ。り。主しゆの滅めつ。皆みな定じめ
離はな。骨ほ。碎くだ。心こころ持も。せ。件くだ。の。朴平ぼくへい。を。垢くず。ニ。ハ。又また。と。と。う。生な。育いく。せ。年ねん。來くわ。使つか。に。私わたく軍ぐん
あり。彼かれも。と。く。こ。家の。劍法けんぽを。た。受うけ。ん。侠氣けいき。あ。る。の。う。れ。が。農家のうけいの。子こ。み
ま。れ。ても。畔は。耘う。づ。づ。が。ぬ。ま。だ。い。づ。づ。く。り。と。お。ひ。そ。ん。某もし。と。乗の。土ど。ま。づ。
あ。う。と。エ。も。苛ひど。法ほうの。苦くる。と。主しゆの。仇かう。外ほかの。讐しゆ。言こと。定じ。色いろを。射いた。殺さ。ん。と。う。す。矢
矢や。放は。そ。く。く。う。と。に。所ところ。在あ。そ。う。と。推量すいりょう。ハ。怪あや。然ぜん。と。怨うら。倦うら。や。彼かれ逆そな賊ぞな

粗殿さんとタゞとも面ハ豫さんもトモシテ。近づくもあらずれハ晋の豫讓が做り
て身又深しく姿を寧まし。日毎よ瀧田を徘徊して回る。時々窺たるなり。
ほうどる。怪し人の跡はあらず。且く彼が遠離り。ころねて本を抱よ。ゆふ
隠れ在る巷の風雨里見冠者義実ぬ。結城の毛と脱毛にて麻呂安西との
事と彼人との能を忌み才を媚うること用ひて刺言致殺。殺さんと計れる
よ。不思議耳ふ。君は告え因ハあらず。トジ名残せり。ひ
只眼嬰児が垂乳母と慕へ心持はざるのみ。そべ付ぬよと立ちつけふ。人より乞
エスカね。自ら辛苦。そろへあらず。とりでめぐりゆあらんと。彼此とも呻吟つ。
けふばかりとも。箸の所達よ甚れば。物も刀槍も。他郷の人と。ばくに人表骨
相平人なぞ。親へとえても礼儀よ稱か。その為伴へ主従までモ下へ。彼君スムえ
と推量れども白地よりひづる。と清滑へ。船が舟歎み櫻へ。事情を述す。何

う雲せう人えん。里をえく。と。里えんの君を。と。新が民のを。表へ。白帆走
らせ。風のうと。白帆へ源家の旗となり。と。兵と揚あり。威風よ靡ぬ民草
る。と。うるあうれ隠。と。安房の水門下る。船は浪よ碎け。潮ふれ。人色
とも。のこすも。と。と。荀子。所云君へ船へ君今漂泊あらず。ひて。麻呂安西ふ
忌嫌れ難矣。と。びゆと。圓入るべく見ひ。見ひ。不見ひ。あく。悉く。
瀧田館山。平館。すう。剛敵を。すう。平。めう。と。秋。すう。と。秋。すう。と。秋。
楊猛よ瀧田へ推寄せ。定包が罪を。かぞ。短兵急。攻あら。一舉と。城を落
さん。彼城既。又。殊伏して。平郡長抜を取ら。麻呂安西。ふ。へ。対。も。倒れん。生ふ。ま
と。な。へ。を。制。しおと。と。た。ハ。征。せ。ふ。る。と。く。と。ち。く。も。ち。ま。く。彼城へ。如。此。と。え。箇。櫻
箇。櫻。と。地理要害。城。ひ。み。と。う。と。と。述。よ。が。天元。も。貞。行。の。よ。子。憲。す。と。持。と。
頻。よ。耳。波。側。て。と。り。か。り。け。と。も。義。實。へ。そ。の。旗。よ。緒。へ。お。き。と。く。し。か。と。所。と。お。典。

週う謀りとつとも。寡りく衆々敵一に。況卫五天海浪へたり。何ひ因。
躬方と集ん。今只主役二人。瀧田の城を攻め。とせば蠶娘が名と揚て申す。もと
異る。と云ふ。と辭更ハ金碗八郎小膝代をもとめ。ひそかに。まことひのうる。
大約二郡の民百姓被逆賊。虚けら。心骨髓は徹る。といひ。もぢよ壓れ威。云
ひを立と。且く渠又後人の人とうく義。と。草木の日影は倒れ。いに。毛今
こ。小孤柱を掩せ。不食餘が。あよ逆兵村。民の土炭を救んと。トシ旗を揚ぐる。
五の穿。よ零。が如。御官の物。小魚。とる。ど。皆殺さ。支集。仁義の軍。よ命。と。櫛生
ス。が。き。太色。う。六。と。啖へ。と願が。う。の。ひ。ん。や。孝吉物の数。う。徳。ど。計畧。と。や。う
と。の。裏へ。と。集合。んと。尚。と。え。と。う。易。う。計畧。へ。箇様。と。と。間。と。く。まで
密。沿。ば。義。冥。ハ。有理。と。應。く。そん。と。丘陵。を。み。そ。側。と。ゆ。か。氏。え。ホ。ハ。寄。た。う
寄。り。う。と。感。嘆。く。又。さ。と。孝吉。を。と。う。の。う。さ。あ。う。執。視。惜。う。金碗。う。

忠義の。あ。と。ひ。る。が。皮膚。ハ。瘡。と。包。と。と。づ。と。人の。面。剣。の。手。と。身。と。
あ。う。か。

集。る。か。ある。人。あ。う。と。よ。名。告。る。と。も。そ。と。と。へ。と。ひ。み。ぶ。べ。の。り。と。み。瘡。の。頭。と。
い。ち。り。き。や。

愈。良。藥。ろ。へ。不。ほ。の。ゆ。と。薬。剂。も。が。と。届。れ。ハ。孝。吉。ゆ。と。袖。と。搔。揚。故。主。の
あ。み。六。才。も。や。と。う。遂。よ。廢。人。と。う。う。ど。被。逆。賊。と。滅。さ。ば。平。天。既。よ。足。る。ん
り。の。と。う。が。る。ふ。う。ち。軍。兵。う。と。殺。面。剣。ハ。裏。と。も。お。な。う。も。妨。ほ。心。懸。念。
あ。來。る。と。い。ひ。と。腕。を。う。た。捐。と。う。が。冥。且。く。沈。吟。じ。志。ハ。さ。も。あ。う。え。う。
と。う。く。愈。す。瘡。ろ。と。べ。愈。と。よ。よ。と。あ。べ。う。と。療。ハ。鮮。と。尾。り。と。さ。れ。瘡。と。
搔。く。家。ゆ。く。り。蟹。を。貪。る。と。あれ。べ。瘡。る。が。と。く。よ。と。と。う。い。よ。と。う。と。と。
今。そ。の。瘡。ハ。漆。の。毒。と。觸。る。の。と。内。と。う。瘡。れ。と。り。ゆ。と。解。虫。と。の。と。と。の。
毒。と。解。ハ。立。か。と。愈。り。や。せ。ん。用。ひ。く。と。と。対。が。孝。吉。と。智。ふ。感。佩。と。達。
ま。れ。し。ま。よ。と。う。と。と。浦。曲。み。蟹。ま。り。り。と。試。み。ん。と。と。う。け。ま。う。と。わ。の。は。

蟹の子どもが既の入る。魚籃を載つて來よければ負ひて戻へて。こやくと
 心とぶか行そと向ば蟹えり。あるを賣つて笑ひて送りう。買ふるか。の
 數三十あやうりある。美実へそれをアキ。簡様せよ。と教へべ孝吉へこころ乃
 里。その女は生まざり。甲を破らて全身よみやん。そぶ間に負ひて腰を
 燐をうち廻りし松の枯枝と折焼て。すまう蟹を多めり。甲を放足と見て孝
 吉え興みを。ゆくの膝まで腹びく。さゆの今すゞ臭け。膿血ハ乾き。瘡痂を
 只搔く隨は脱落く。大うえよびて愈よき。現掲寫業の效驗神佛頂思と
 慈心の奇特と云ひよ似たり。奇くと庶れ。貞れり。共機少く。横少く。
 りて嘆賞し。あれとぞ。指せハ孝吉ハ馬蹄瘻の漏水を讀す。口が面と
 つくと。感涙を禁わへば。皮膚へつけの如ゆき。搔乱せ。瘡ハ今立地と
 愈ゆる。文兵の道の長の良将の賜う。名医ハ圓を医きたと。某ケ前もあ
 屑すもひかど。乱生て圓をうち治ら。民の苦難を救ひゆ。寔小まよう。仁神
 えまく。テノハ麻呂安西。奈良地より。く。ハト。や限まる日と。あた。彼木せよ
 あく。ん。か。さ。うと。く。和豫を。ぶた。あ。む。齋。よ。密語。や。世。よ。ナ。も。や。彼。如
 あ。む。れ。と。町。嘴。又。効。め。ん。達。の。聲。休。搔。あ。げ。く。髻。短。又。引。續。腰。又。繩。の。帶
 る。が。う。隠。く。ぐ。れ。て。る。七。首。と。き。く。往。方。ハ。小。瀬。の。浦。曲。向。く。傍。り。ぬ
 さ。る。ね。よ。金。碗。八。郎。孝。吉。ハ。里。見。主。役。又。御。導。く。く。小。瀬。へ。赴。け。ば。夏。う。く。う
 れ。れ。も。や。暮。く。尤。日。未。う。の。月。ハ。お。ぎ。行。と。う。き。六。生。や。く。ど。口。延。生。寺。の。鐘。の。声。櫻。代
 ぬ。よ。れ。亥。の。時。え。う。さて。も。ご。の。小。瀬。う。高。光。山。延。生。寺。ハ。敢。川。村。の。も。ち。か。あ。い。上。蓮。上
 あ。さ。う。ち。出。す。の。や。か。る。衣。く。一。日。家。上。人。岡。基。く。一。宇。の。精。舍。と。建。立。延。生。寺。と。名。け
 う。三。の。く。じ。を。良。賤。渴。渴。仰。し。食。二。の。檀。那。と。う。し。づ。法。門。長。久。又。繁。昌。じ。俗。よ。の。上
 あ。り。あ。け。お。な。き。う。と。き。あ。う。源。七。里。法。華。安。房。七。浦。の。經。宗。と。く。大。き。題。目。宗。う。ど。も。就。中。長。挾。郡。ハ

祖^{モト}誕生の地^{モト}と云ふ。苟^{モレ}且^モ他宗^{モト}をや^ハ偏固^ハの信者^{モト}ありけり。
さ^ハ金碗^{モト}孝吉^{モト}豫^ハ討^リしと云ふ。且^モ里人^{モト}火^{モト}を襲^フひて誕生寺^{モト}のわ^トを
ち^ハ竹^{モト}叢^{モト}又^{モト}火^{モト}を放^フり。さ^せざる被^フ草^{モト}も^ハ私^{モト}。野^{モト}于王^{モト}のく^{モト}死夜^{モト}アリテバ。
リ^ハ元忍地^{モト}小天^{モト}又^{モト}衝^リ。稍^{モト}の宿^{モト}を^ハ騎^ク。法師^{モト}大^{モト}の撞木^{モト}を卓^{モト}め。撞^クを撞^ク
志^{モト}イ^ハか^ハ。か^ハり^ハ宿^{モト}よ彼^{モト}此^{モト}の里人^{モト}お^ハ驚^カた^ハ矣^{モト}。門^{モト}の戸^{モト}推^ム固^ム瞻仰^ム。
ま^ハべ^ハが^ハ寺^{モト}小事^{モト}アリ。起^ハよ^ハ生^ハよ^ハと罵^リ。里人^{モト}棒^{モト}引^提。莊客^{モト}農具^{モト}
携^フ。便^シ舟^{モト}人^{モト}裕^{モト}也^ハ。釋^カか^ハ。一^{モト}先^{モト}と争^フ。喘^ミ走^リ。朱^{モト}と^ハ乞^ハ。寺^{モト}
美^キ。其^{モト}城^{モト}工^{モト}。西^{モト}三^{モト}町^{モト}人^{モト}も^ハ竹^{モト}叢^{モト}の^{モト}果敢^{モト}ろくも燒^カら^ハ。夜^{モト}
静^キ。か^ハく風^{モト}吹^カく。里遠^{モト}と^ハ小^{モト}舍^{モト}もみ^タと^ハ人^{モト}僉^カ走^リ。火^{モト}大^{モト}き^ハ
素^{モト}。多^{モト}き^ハ。往^カて^ハ。種^{モト}も^ハ是^{モト}。之^{モト}は^ハ農^{モト}人^{モト}又^{モト}足^カれ^ハ或^カひ^ハく。鉢^{モト}巻^フ。せ^ハ其^{モト}と^ハ解^フ
書^カ。汗^{モト}と^ハも^ア。これ^ハい^ハる。白^{モト}後^{モト}。う^カと^ハ而^カ行^カき^ハ。す^モも^ア野^{モト}火^{モト}の^{モト}と^ハ
つ^ハは^ハ秋^{モト}も^ハあ^ハら^ハ。減^カく^ハ入^ハ。立^{腰^{モト}}の^{モト}か^ハな^ハれ^ハを^ハい^ハふ^セん。さ^ハり^{モト}と^ハて^ハせ^ハる。
正^{モト}小^{モト}賣^カり^ハあ^ハら^ハ。減^カく^ハ入^ハ。立^{腰^{モト}}の^{モト}か^ハな^ハれ^ハを^ハい^ハふ^セん。さ^ハり^{モト}と^ハて^ハせ^ハる。
ひ^{モト}も^ハ勢^{モト}が^ハれ^ハ筋^{モト}あ^ハら^ハ。と^ハづ^カれ^ハ。咄^{モト}と^ハ云^フ。も^ハ有^リ。あ^ハづ^カれ^ハ罵^カば
の^{モト}も^ハ皆^{モト}集^カ合^フ。儘^{モト}々^{モト}憇^カひ^カを^ハ。當^{モト}下^{モト}金^{モト}碗^{モト}孝^{モト}吉^{モト}焼^カ孫^{モト}り^ハる。敷^カ坐^カ謹^カより。
嘆^カき^ハ立^カ坐^カ。巴^{モト}裏^{モト}皆^{モト}脊^{モト}。少^{モト}と^ハア^ハら^ハ。人^{モト}鬼^{モト}。ど^モく^ハ不^モ且^モ鬱^カだ^ハ且^モ呆^カれ^カく。
わ^レよ^ハ。と^ハか^ハ犯^カ。孝^{モト}吉^{モト}ハ^ハ身^{モト}抵^カ抗^カ。裏^{モト}人^{モト}あ^ハる^ハじ^ハス^カ。少^{モト}ハ^ハ甲^{モト}夜^{モト}よ^ハリ^ハ
と^モう^ハ。休^カ連^カと^モう^ハり^ハ。と^モ喻^カせ^ハ只^モ文^{モト}又^{モト}と^モう^ハる^ハ。原^{モト}來^カ正^{モト}の^{モト}不^モ到^カ。而^{モト}
俺^{モト}们^{モト}を^ハ迷^カせ^ハ。自^{モト}物^{モト}ハ^ハ彼^{モト}奴^{モト}打^カ。よ^ハ拾^カれ^ハ。と^モ闘^カく^ハ。騎^カが^ハし^ハ駆^カ。而^{モト}進^カみ^ハ。縁^{モト}由^{モト}至^カ
告^カされ^ハ。老^{モト}も^ハ怒^カり^ハ。へ^ハ死^カと^モ云^フ。故^カる^ハ。あ^ハ小^{モト}火^{モト}。揚^カて^ハ休^カ連^カ集^カ合^カ。各^{モト}告^カ
せ^ハん^ハと^モ推^ム落^ム。そ^ハの圓^{モト}乱^{モト}。且^モ忠臣^{モト}あ^ハれ^ハ。そ^ハの家^{モト}難^{モト}。孝^{モト}子^{モト}出^カ。志^{モト}も^ア
あ^ハと^モ六^{モト}ア^ハ。そ^ハの浮^カ世^{モト}又^{モト}隱^カ伏^カ。は^ハ裏^{モト}れ^ハ果^カ。こ^モと^モと^モ人^{モト}お^ハり^ハけ^カ。

ベ。乃より舊の國主仕。金碗八郎孝吉あり。裏裏ゆハ君と練をして。ひるく。也
 お退た。旅宿小生城経て。もとより舊恩ひそぞとくべに連臣定包とおどりんが
 潜びて故郷を立つり。名と変姿を棄て。とすく隙と窓ども人裏氣が天々
 捕撃三里の城より居て。万人の復讐あり。豫豫々氣を橋下よ磨。又あるとた
 忠光の眼を魚鱗小覆ともかひう。さよとすと。平館山うる。麻呂安西ハ云
 まえ。蓬く逆よ與へ。恥とせば古主よ舊交あり。とひし。こまらふ械密を告ぐ。
 雪だ。よじれ。不。まく。形あたせ。成憤り。墓ろと。おを恨み。の。懲。又現身の息の内を術ス。タキ。
 一。死との後よ冥ふ。そく。遂て。怨と復さん。め。贋と切くえ。と。ハ折里見。君者
 よ。ま。義実。ホ。結城の寄。を。殺脱。白瀬よ漂泊。安西ホと類。モ。ト。又。彼ホハ是モ
 志は。も。田。也。箇機。ヒ。言。貢。役。く。殺。さん。と。セ。と。ど。縛。し。モ。う。期。小。至。く。
 云。れ。も。う。白。箸。の。河。畔。お。初。め。ひ。な。す。忽。卒。と。ゆ。い。ひ。う。り。く。鴉。小。試。み。せ。り。小。

彼君年。と。ひ。と。よ。言。詰。応。對。イ。あり。ま。あ。ン。寔。小。丈。兵。の。良。將。大。物
 家。き。こ。も。か。ー。あ。い。る。と。と。つ。が。
 猶。城。よ。築。り。民。上。或。ハ。無。ひ。と。生。拘。られ。恚。み。た。ハ。拂。え。る。小。主。後。不。思。殘。小。席。口。を
 脱。れ。て。あ。小。漂。泊。志。を。と。と。が。身。も。と。の。車。あ。と。と。彼。逆。賊。定。包。不。年。來。ひ。と
 去。け。る。も。の。び。く。小。ち。黒。く。徐。連。が。福。う。と。ど。や。を。や。彼。君。又。復。ひ。も。ね。と。せ。定
 包。と。減。こ。も。六。是。則。賊。民。一。團。る。と。と。餘。殃。と。受。ん。圓。の。あ。小。逆。を。討。美。又。仗。け
 り。の。良。民。入。と。土。炭。と。脱。り。と。子。孫。以。餘。慶。と。受。ん。今。こ。あ。と。戒。告。ん。と
 さ。る。ふ。言。ハ。必。博。易。と。ひ。と。お。り。ふ。と。み。く。と。ば。已。と。城。火。を。揚。て。ま。の
 ま。も。つ。ぐ。
 築。集。會。ま。う。と。と。苟。且。の。こ。と。る。と。叮。嚙。と。號。示。其。ハ。食。飲。く。の。と。と。指。
 あ。よ。る。く。寢。れ。り。ひ。一。六。面。被。櫻。玉。の。金。碗。ど。の。と。と。忠。ひ。ク。け。ば。ト。う。と
 王。公。
 え。え。不。禮。ハ。ゆ。ち。ま。せ。の。と。素。よ。智。皇。ゆ。く。才。も。な。く。虫。よ。む。禪。

へ。國。主。の。舊。恩。と。忘。る。べ。た。誰。ろ。定。包。と。う。と。め。て。お。お。お。ん。憎。と。

及ひを勢ひ當ひけ。月日ハち。公照だや。とうち歎ひくい。
あつる。千里見の君の。誰とも。ふり声も。素姓と問へ。源家の嫡流也。まえ寧まざ
農将。と。坐づる日より。暮。一。かく。足を。繋ぐ。渴望せ。うづめ。夏日。うらを
奇醒き。ゑ。天候。病萎む。民草を。博ぐ。あく。軍を。如。城は。國の大幸。あれ
孰。余と惜むべ。北莫ハ金碗ど。これら。の。よ。盛。や。と。醉。ひとて。恋。バ。孝吉。後
方を。う。れ。り。其れ。み。く。や。が。せ。り。ひ。え。そ。や。緯。成。く。ゆ。と。ゆ。内。す。と。せ。り。民。元
貞。れ。と。持。こ。叢。薩。よ。徐。と。進。を。出。そ。農。へ。よ。う。ち。對。ひ。こ。と。そ。里。見。美。宴。あれ
乱。る。世。ハ。殊。矣。又。日。前。と。う。え。の。る。と。ひ。と。そ。修。羅。闘。場。又。奉。士。矢。天。傷。の。き。え。る
ひ。と。り。恩。木。の。蔭。み。へ。懇。ハ。ま。よ。す。と。く。民。の。父。母。つ。る。ば。ん。そ。の。徳。絶。て。ほ。と。い。ふ。ど。る。
人。倘。ひ。色。を。捨。と。う。バ。こ。と。亦。そ。の。幾。よ。う。ざ。ざ。う。ん。や。譬。ハ。千。里。の。駿。馬。や。そ。の
足。な。れ。ば。走。り。が。で。万里。又。羽。を。振。大。鹏。も。驚。異。る。き。と。あ。と。か。め。り。と。これ。ハ。孤。独。乃
言。者。され。た。今。農。入。の。仇。を。怨。う。達。ふ。う。と。る。う。ま。や。さ。め。り。淹。田。ハ。剛。敵
ス。テ。馬。物。具。整。つ。と。兵。糧。の。貯。り。桃。も。あ。追。と。し。と。そ。の。ふ。と。可。あ。と。人。と。向
き。と。く。裏。皆。面。と。あ。と。現。あ。う。なり。と。そ。と。す。と。ふ。雪。暴。時。回。答。ハ。せ。づ。り。つ。と。そ。が。中。か
村。長。と。ち。ば。く。く。老。よ。る。の。西。三。入。班。を。そ。う。と。そ。く。そ。せ。寔。是。又。御。從。く。に。へ。ば
聊。愚。按。と。や。ス。る。九。長。使。一。郡。ハ。定。包。が。股。肱。の。老。嘗。是。萎。毛。皓。六。久。あ。う。う。少。、東
條。よ。在。城。セ。ス。、あ。れ。ある。と。遠。う。と。ぞ。且。緯。の。す。あ。う。せ。小。酷。六。を。解。じ。あ。く。物。具。兵。糧
り。く。ば。さ。う。一。郡。忽。地。あ。ん。ひ。か。ア。う。ん。か。く。淹。田。と。攻。め。と。進。退。自。由。ふ。い。く。そ。や。と
言。委。細。よ。生。ひ。よ。く。せ。が。不。冥。感。嘆。大。々。う。と。う。と。お。り。小。左。右。を。そ。り。う。て。か。く。お。れ。と
お。く。お。れ。夫。も。功。者。あ。い。と。と。の。叟。示。を。ひ。び。た。か。り。寡。残。生。し。歎。を。そ。く。お。そ。き
神。速。う。る。お。か。う。じ。の。じ。今。霄。直。さ。と。推。懸。く。彼。望。よ。極。う。れ。以。無。人。箇。様。こ。み。せ。と
へ。者。吉。ホ。ハ。ま。え。死。ぬ。と。先。貞。れ。り。う。共。又。要。合。一。村民。と。数。き。と。

「廻されと三隊ヨリノケテ、幕を擱ミテ。食飲ト合戦ノ義モアラシ
旨アリ。巨竹ヲ伐トノク。竹槍トノク。挿む。その一隊ハ四十餘人。城内貞利ト至
イ。假ニ金碗孝吉と傳フ。先陣ニ進メ。此則矢実の計略也。」
後陣ハ則五十人。松倉氏元大將ナリ。中軍ハ六十人。長宗ミハラシ將トモ。二隊モ
間裡トヘ。遠り此城の正門のほどアリ。一隊ヨリテ、とソジテ。さる程ノ東條界。
定包ノ目代ス。美毛醜六郎元朝小瀬の火と法メ。よとく。中夜やハ縣兵を出セラ。
火ハ毛や滅つ。里遠瓦野火アリ。残る者。縣兵ハ途よりアリ。再寐の夢と
結ぶ程ア。曉ニちくろア。小多。浩氣又入縣。正門の城戸を敲く。夢を。門卒を。象
さまと。誰と向ハ。小瀬なる。駿川の村長木が盜賊を捕へ。と。卒立て來つる人
あり。紹故を奪れハ。さひ甲夜の間。又發生寺の竹藪ア。野火と滅ル。と。誰か。癒者と
捕ス。力量早枝面魂。久庸の火のあよ。輪々出逃。責問ハ。口の罵。く實を
吐き。よろ入アリ。てかうはす。渠ハ舊の四主ニ仕。一。金碗八郎孝吉。二。少助。三。古主の讐。を復ス。と。そ。漆を寢。一。名を変。二。月。三。方。瀧田を徘徊。辯分明。よ
頭れ。う。ち。體。よ。け。罪人。う。ふ。一。過失。二。えせ。三。後難。遁。ぐ。も。わ。う。ぞ
よ。う。て。曉。れ。然。ち。だ。し。く。大。勢。と。ゆ。く。ま。り。み。こ。れ。う。と。底。下。安。と。声。高。ゆ。く。ふ
き。え。と。応。め。お。声。を。引。泣。く。ま。り。去。此。彼。少。や。告。り。け。且。く。く。不。安。二。
宣。義。を。き。角。門。伏。推。却。づ。犯。皆。ら。く。入。と。ひ。入。ま。と。縛。ら。且。二。方。態。を
あ。と。先。よ。進。ミ。一。孝。吉。ハ。索。を。ほ。う。り。と。揮。解。た。左。方。よ。う。る。兵。士。う。刀。を。刺。一。
手。が。掛。く。引。抜。奪。集。く。礫。と。砍。る。夕。の。光。の。ろ。共。又。頭。ハ。死。地。ふ。落。る。若。ひ
か。れ。か。の。る。且。ス。狼藉。ア。と。そ。ぞ。り。少。傷。竹。く。兵。七。と。旨。立。進。む。自。刃。ハ。孝
之。難。倒。一。砍。拂。ひ。無。人。御。よ。ひ。ど。く。才。や。二。の。城。戸。ハ。攻。つ。け。さ。り。

川ハ大門を推ひて岡を吐と揚へぶ氏元と隊アリ。喜山アリ。寄
寄シカケル。其實ニれとせあへき。時分ハ今そ岡をゆきをみとめ退ら。と今あらハ
裏アヒトヨミ。何々勇マサモ。やがてシテ。腰ウエストく合ハシメる岡の声。勢力潮シナガハシの涌アツム。躉シテ。地シテよまえひりて二の城戸を
うち破クスリ。摘要アキラカの葵毛アキモ。そ。さとみのうすとアキモ。
寝アヒトヨミ。推タスく主君と仰アカル。はれバ逆賊定包アシタカをうち滅アツム。岡の汚穢アシタカを掃アツム。仁義の軍アシタカを
誰アシタカ歎アシタカせん。ものほくとぞろ過アシタカとぞろ。老弱簞食壇持アシタカ。それと迎アシタカ。口。今禪アシタカのむか
せず。ふこの城を獻アシタカりぬ先非と悔アシタカ。若アシタカ久アシタカのハ降アシタカ。そ頭を續アシタカげ。惑アシタカひととよも
玉石アシタカ。久アシタカ井アシタカ碎アシタカけ。出アシタカく。喚アシタカけ。機横アシタカ。主導アシタカ。小捲アシタカ。されハ城兵アシタカ。そく碎アシタカ易アシタカ
ちく。防アシタカ。戰アシタカ。とどろのう。田畠と脱弓箭と棄葉。伏アシタカく。軍アシタカをこひ。ひそ里見
美実アシタカ。ハ刃アシタカ。鮮アシタカ。と。東保の城アシタカを乗取アシタカ。城將葵毛酷六アシタカを索アシタカ。ひよ渠アシタカハモアシタカ、威
亡アシタカ。その性方アシタカとちく。美実アシタカ。そ。自根アシタカをとせ。彼アシタカ。博愧後悔アシタカ志アシタカ。と改アシタカく。

只アシタカよ。と。後アシタカ。今アシタカ。舊惡アシタカを外アシタカんや。然アシタカ。然アシタカ。至明アシタカの醉醒アシタカ。ど。いちらす。す。逃亡せアシタカ。

固アシタカ。と。惜アシタカ。足アシタカ。不アシタカ。裕アシタカ。直アシタカ。又アシタカ。瀧田アシタカ。道アシタカ。アシタカ。定包アシタカ。と。告アシタカ。ん。安西麻呂アシタカ。小裸アシタカ。

合アシタカ。セ。く。時日と後アシタカ。主アシタカ。と。准アシタカ。と。せ。事アシタカ。と。べ。アシタカ。今アシタカ。新アシタカ。と。城アシタカ。と。獲アシタカ。て。二三百の上車アシタカ。あアシタカだ。

半アシタカ。降アシタカ。系アシタカ。を。つ。り。の。う。り。土客アシタカ。の。拵アシタカ。力。申。中。し。あ。り。謀合アシタカ。期アシタカ。せ。じ。く。ニ。チ。少。小。敵アシタカ。と。變アシタカ。と。行アシタカ。

り。く。と。も。と。富。ら。ん。誠。よ。諱。と。志。に。大。事。と。あ。く。と。ど。や。酷六アシタカ既。と。土。ぐ。る。と。も。い。ま。と。遠。く。

田。ベ。く。と。金。碗。八。郎。孝。吉。と。何。か。へ。く。支。去。え。軍。兵。十。人。あ。や。う。り。と。ぬ。く。

そ。や。うち。出。ん。と。ま。る。折。多。金。碗。八。郎。孝。吉。と。何。か。へ。く。支。去。え。軍。兵。十。人。あ。や。う。り。と。ぬ。く。

忽。然。と。や。く。つ。大。將。美。實。と。ち。う。じ。や。う。は。の。崩。れ。彼。此。と。優。劣。苏。へ。り。の。じ。甘。不。良。

この。城。の。案。内。と。と。く。あ。さ。う。不。幸。と。終。く。そ。の。所。在。と。あ。と。も。顧。み。城。の。西。北。と。一。傳。の。

六。生。抱。と。と。く。あ。さ。う。不。幸。と。終。く。そ。の。所。在。と。あ。と。も。顧。み。城。の。西。北。と。一。傳。の。

面。ハ。檜。山。と。と。く。右。の。う。れ。樹。立。あ。く。左。ハ。崖。高。と。と。く。下。ハ。千。尋。の。松。林。

八大傳卷之二

八代傳

第六
六

金之郎



言ふ。人もあらぬ所あり。色の内と名づけ。彼奴はまゝよ
て車。推車ノく。又へある利する軍兵と駆催し。嶮とほひ蔓をと。若捷被より
うち出る。前面を信と見え。せひ女房子どもと獲え乗る。主従もへまゝハ九東
南を渡て来る。熟視シハ酷六う。這奴もトダハ神餘の老黨。されば遙
左やさり。主君のあらえ大きる。その祿をひく身を肥す。眷属事等を
養ひ。忠義のあらる死を。逆賊。又媚諂ひ。東條。又在城にて飽す。
民を虐する。天罰竟。又追き。落城のけふ。及びて。逃るとも脱さん。金碗八郎
あり。かへせ疾せ。とゆうけ。透間もろく。追蒐れば轎まどもひとと云ふ龍吉。
そつま。うまろを。支。跌た。轉輾。篭を。搜地。ともち。墮せ。女房子。どもハ吐嗟と叫びて。千尋の谷へ
滾落。株。又。石。又。碎。骨。又。遠。死。ぐり。萎毛。又。眼前。妻子の横死を赦す
まづ。舞杖衝。又。岸邊。立在。よろこと。信と見え。やり。腰れ。とく。やむひ
け。人後ヒ。人魚鱗。小。ね。く。追來。我を。よう。宿。躬方。ハ鶴翼。又連て。鷺鳴の燕
雀。と。駆。り。て。旋風の沙石。巻。く。壯。と。嘯。く。突崩。と。地方。も。召。小負。ぶ。節。忍。と。大。も
明る。ぐ。雲。あ。る。畠山。藻の樹下。圓進。ひ。退。り。騎。赤。弓。織。る。と。ち。み。れ
鎧の袖を。滑脱。く。先を。争ふ。躬方の英氣。又。追走。馳。る。雜兵。ホ。雲。妻。時。柱。て。駆
う。く。散。か。走。る。城。追。蒐。追。詰。く。ぼ。い。く。生。拘。り。つ。竟。小。賊。將。萎。毛。ど。殺。り。と。く。く。い。
人と。殺。さ。ま。ど。ま。定。包。は。後。不。り。の。み。惡。人。又。あ。ぐ。と。く。或。ハ。一。旦。乃。害。誠
あ。れ。或。ハ。時。と。勢。よ。志。成。嫁。き。の。十。ゆ。く。ハ。九。う。と。く。ご。の。故。ハ。非。と。悔。く。
お。も。と。り。ハ。す。く。命。と。助。る。の。そ。く。用。ざ。る。エ。ス。た。り。の。件。度。い。今
胡

はあそひ。従事ハ生拘られ彼身ハ却頭を重ひし剝妻と子ハ石堰水にあり。故に御酒碑はく死つてゐる。此時と勢ひよ志戦程とをも逆々後へとえかど。必天の敵する心悪の力のみべ。よりや悪少六侵入ともみづから要兵多き。而ぞ候めと説諭。金碗が牽りと本世傳と釋放させ。凡新ニナムモリハ軍功の主のゆふようく後日小恩賞あるべ。と正首小仰。久々食感涙と禁めへども。捨てた金子せば。下りようの君王後さかとよとて慚愧後悔今更。方の置とテス底をざりける。ソク又美実ハ尊吉ホシ宣ふゆ。酷六瀧田へ逃りて定包火急よよけ來らべ。トダバ公安ケトエス一の尊吉。けの勤死。ト冬胸中とあるか似。城兵散済せしといふとも。翌日。而と。小。以彼此へ坐え。おとく。麻呂と安西。帽て定包を佐る。トスベ。先ヨまれハ。紙制。後。アヒナ。制らば。この。曉昏。小さも。發く。通宵。支ケ。平郡ハ。今。敵の膽を冷ます。初度の合戰。鷲方小利。あく。麻呂安西ホハ。皆。怕へ。と。後。頭を出だへ。そんと。手をくわ。あれ。勧實と沙汰せん。とく。金碗八郎孝吉と。第一番と定させ。莊園。縣賜。され。と。故。より名ふ。ト。アノ。固辞。ひく。折を受。第二番。小ハ。小漢。小。東條。と取。り。と。ヤミ。と。ゆ。三。人。を。召。出。そ。の。名。代。同。セ。ウ。ハ。三。平。四。治。郊仁總と。茶室。長實。ゆ。く。うち。微笑。ら。い。と。愛。こ。な。名。こ。一。平。レ。山。下。麻呂。安西。の。三。雄。と。平。の。前。象。と。い。べ。在。四。治。ハ。四。郡。を。治。ん。祥。ハ。總。ハ。則。ゆ。そ。ま。こ。の。の。上。總。下。遂。後。ハ。み。と。を。し。不。掌。小。入。人。飲。り。れ。ハ。そ。の。名。代。ひ。と。よ。合。く。か。の。一。三四。二。个。村。ゆ。今。又。二。增。倍。と。れ。ハ。三。十六。所。の。長。と。見。し。と。教。書。を。云。是。年。老。者。と。い。う。と。思。う。と。考。れ。は。皆。の。歳。と。唱。つ。飲。い。と。て。退。か。う。第。三。番。ハ。既。え。良。経。二。万。餘。多く。と。う。と。考。れ。は。銀。さ。る。金。違。あ。と。ど。或。ハ。秩。様。と。山。死。絶。或。ハ。牽。出。物。と。賜。れ。が。り。

有二拜舞。賞里く。御輕い。死せるのも又小生涼物ハ榮。江小還。卓轍の東海の中みる常盤木君が齡はまだ二石の岩殿とえり生を竭せト。と今様を合奏。壽元奥ノ事。坐る程。又美ハ法度を實。民と安堵。名れ。軍令と正て。上卒成勵。あひて。招う。まことに。もやわらひ。數百人。及ひ。と。これハ過半と。うち置く。松倉氏元とも小城を守る。僕。二百餘騎。伏おき。若吉と先陣と。負ひて後陣と。平郡へ進度志。ハ氏元公。と陳で。おどかを。下小見勢。寡い。一ノ城。よそ二三百の士卒。あく。足る。と頗小密。吾アセリ。矣。実隣をうち掉ぐ。否。ての城ハ。こぞ築。て。アレ。破ら。且。何如へ。還ろ。合戦。ハ。ゆ。ち。丸の。多。少。よ。づ。小。も。の。う。と。我小利。あく。二百騎が十騎。二千騎。小。も。く。う。ね。べ。こ。う。く。ゆ。急。念。せ。く。汝。ハ。よく。城。と。ア。ミ。シ。ベ。タ。ア。モ。ア。リ。麻呂安西。お。ま。和。睦。せ。心。こ。れ。と。辛。ふ。へ。り。瀧田乃

敵兵。よせ。暮ら。力と竭。と。防。戦。へ。き。く。じ。か。く。追。べ。く。ぞ。ニ。れ。安。全。乃
良策。こ。努。く。懈。え。く。と。叮。嚙。ス。説。諭。と。そ。先。陣。とい。そ。ぐ。と。極。く。出。陣
を。あ。ひ。う。果。せ。る。う。み。里。見。の。一。軍。そ。の。夜。前。原。浦。と。渾。荻。さ。る。堤。橋。を
渡。ほ。が。実。の。徳。政。幕。ひ。風。を。望。く。帰。降。さ。る。野。武。士。郷。さ。ま。と。百。騎。二。百
騎。うち。つ。と。さ。く。あ。ふ。く。追。昔。な。り。軍。勢。千。騎。ス。た。り。く。後。ま。す。く。も
上。總。へ。赴。を。ゆ。と。え。て。河。の。ほ。と。り。ゆ。く。後。陣。と。被。せ。あ。ひ。と。そ。祐。嶠。と。守。せ。る。
側。よ。白。旗。の。神。祠。あ。リ。美。冥。則。馬。よ。り。ア。リ。と。そ。ヤ。キ。モ。チ。キ。ヨ。リ。奈。ギ。キ。ル
ア。ミ。の。移。代。千。騎。橋。と。唱。ア。リ。加。旗。こ。の。如。ハ。む。く。一。源。賴。朝。卿。當。岡。へ。推。済。り。
の。く。ア。ホ。モ。ア。リ。こ。と。底。く。諸。軍。兵。合。戰。勝。利。疑。ほ。と。そ。勇。ざ。る。ア。ム。ア。リ。カ。

